

震災・医学・医療に関連する商業紙報道の見出し・概要（平成23年5月1日～5月31日）

東日本大震災		新聞	掲載面	掲載日
医師	災害派遣の医療に情報統制機能が必要。現場の状況を正確に中央へ伝え、中央から現場へ正確に指示ができるような流れを検証する必要がある。また、阪神大震災ではクラッシュシンドロームなど外傷が多く救命が必要とされたが、東日本大震災では津波での被害で救命医の必要性が低かった可能性があり、マニュアルの見直しも急務である。	千日	7面	5.30
医師	宮城県気仙沼市の村岡外科クリニック院長は震災直後3日間で約百人を診察したが、約2週間往診ができず気がかりが消せなかった。今回の震災は救急患者が予想より少なく、当初から高血圧や糖尿病などの慢性疾患にかかる患者の対応が求められたためだ。	読売	16面	5.12
医師	宮城県南三陸町歌津地区で赤ひげ接骨院と書かれた仮診療所で、毎日70～80人の患者を診察。地区で一人しかいない医師は、地域診療を受け継ぐ後継者養成に使命感を持つ。	山日	11面	5.2
医師	PTSDの治療効果が高いとされる心理療法の専門家、東北地方で不足。PTSDは、死の恐怖に直面した5～10%が発症し、抗うつ薬の効果は患者の約2～4割。国際的に有効性が確認されている「暴露療法」は経験豊富な専門家が行うと3～4カ月で患者の7割に有効だが、日本では20人未満で東北地方ではない。	読売	2面	5.2
官公庁	原発の冷温停止計画について、東電は年内での計画遂行に厳しい見解を示した。メルトダウンによる原子炉圧力容器破損で作業工程に大きな遅れが生じ、収束は8-12カ月かかる可能性がある。	千日	1面	5.30
官公庁	千葉県、海水浴シーズンに備え、放射線検査の対象を海水まで拡大した。県の太平洋側は黒潮の影響で通年南から北への潮流があるため汚染水が南下する可能性は低いと、県は推測。	千日	1面	5.16
官公庁	文科省、土表5センチ程取り、1か所にまとめて地下に埋めなおすか、表層と下層の土を入れ替えれば放射線量が大幅に減らせるとの実験結果をまとめた。福島市内の実験では表土を剥ぎ取り、約20センチほど下層の土をかぶせると放射線が約90%低減した。	読売	32面	5.12
官公庁	宮城県、病院の被災情報をネット共有する国のシステム「広域災害救急医療情報システム（EMIS）」を導入しておらず、災害派遣医療チーム（DMAT）に十分な情報提供が行われなかったことが読売新聞調査で明らかになった。	読売	1面	5.10
官公庁	山梨県、2006年介護保険見直しに伴い市町村に設置された地域包括支援センターは高齢者福祉担当課と協力し、災害時の高齢者一人暮らしの安否確認も。社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健師で構成されており、ケアできる側とケアを必要とする側の架け橋となった。	山日	11面	5.1

官公庁	学校の校庭線量20ミリシーベルトは、原子力安全委員会が委員会の招集なしに審議約2時間です出したものだった。議事録もない。安全委員会は国際放射線防護委員会の勧告に準拠したとしたが、内外の専門家から批判続出。	山日	1面	5.1
研究	千葉県なのはな会と千葉市医師会は米国人で被ばくの治療専門家のロバート・ピーター・ゲイル博士の講演を開催した。ゲイル博士は冷静に対処し、くじけずに頑張ることの大切さを強調した。	千日	18面	5.29
研究	日本物理学会誌1995年10月号の論文、原発の地震災害予言。ツイッターで話題。	山日	18面	5.8
研究	大学の被害900億円越す。金属工学などの先端技術を有する東北大の被害が突出。設備約352億、建物は約440億円。	山日	2面	5.8
災害関連症状	被災地の建物やがれきの解体・撤去で生じる粉じん、特にアスベストに注意。アスベストが引き起こす主な健康被害は、悪性中皮腫、肺がん、アスベスト肺、胸膜肥厚斑、胸膜炎、悪性中皮腫（腹膜）である。予防には粉じんマスク着用を。	千日	18面	5.31
災害関連症状	被災地の認知症支援マニュアルを日本認知症学会が作成。マニュアルは薬物投与よりケアやストレス・混乱をなくす環境調整・健康チェックを重視している。マニュアルは日本認知症学会のHPで公開中。	千日	6面	5.29
災害関連症状	認知症、避難生活で悪化。ストレスや環境変化で命を落とすケースも。	読売	3面	5.8
災害関連症状	宮城県で被災者約100人に地震酔いの調査。被災直後は約8割が体験、1ヶ月後は約2割で酔いが続いている。地震酔いのタイプは「上陸後症候群」「車酔いしやすい人」「PTSD」。深呼吸やガムをかんだりしてリラックスすること。目白大クリニック(さいたま市)の医師調査。	千日	6面	5.8
災害関連症状	てんかん薬、被災地で不足の恐れ。服用量を減らしても、薬を飲まない日をつくらないようにすることが大事。ブルプロ酸とフェノバルビタールを併せて処方すれば急場はしのげる。また、規則正しい生活、十分な睡眠、適度な運動で発作を起こりにくくすることも大事。	山日	4面	5.2
災害関連症状	福島県南相馬市、時間とともに精神的ケアが急務。	読売	23面	5.2
被災原因	宮城県塩釜市の震災関連死の死因は45%が心室細動でAEDの迅速な使用で救命できた可能性がある。4月末までに震災関連死は29人、そのうち13人が心室細動に陥った可能性があるが、救命措置が遅れていた。	読売	夕・13面	5.17

被災原因	車で避難、渋滞で車ごと津波にのまれ被害拡大へ。	信毎	21面	5.2
被災原因	岩手県、宮城県で高齢者用の52施設で438人が死亡・行方不明であることが判明。沿岸部に位置していた施設ばかりであった。今後は立地条件の見直しが迫られる。	山日	1面	5.1
復興	宮城県南三陸町の志津川漁港に「番屋」完成。漁師が情報交換などをする前線拠点の作業小屋で、住民みずから産業復興に取り組む。	産経	28面	5.8
復興/サイト	自宅にいる被災者が必要な物資をサイト上に書き込むことで、全国各地のサイト閲覧者から被災者の自宅に向けて直接物資を送る仕組みをもつサイトを開設。 ふんばろう東日本支援プロジェクト： <a href="http://funbaro.org/">http://funbaro.org/</a>	読売	22面	5.2
放射線	放射線対策をチェルノブイリから学ぶ。30キロ圏外の地域に汚染が広がっても避難せず、20センチほど耕すだけで十分な効果が出た。さらに、菜種の中でも、放射性物質の影響が少ない品種の栽培や精製した油をバイオ燃料に加工した。また、住居周辺の道路では表土を剥ぎ取り、地中に埋めなおしてコンクリートを敷き詰めるだけで被ばくを数分の1にまで低減できた。	読売	13面	5.11
放射線	福島第一原発の建屋周辺の汚染された地下水位、事故前より6-9m高い状況続く。事故後は海に放水できず、くみ出しポンプの電源は落とされたまま。	読売	夕・2面	5.9
放射線	東京電力の医務室で作業員の健康管理していた女性社員が被爆。今年1～3月の3カ月で7.49ミリシーベルトを浴び、限度の5ミリシーベルトを越した。当時、マスクが不足しており、作業員の衣類に付着した放射性物質を吸い込んだ模様。短時間に1シーベルトを浴びると吐き気やだるさを訴え、4シーベルト以上なら半数が30日以内に死亡する。	信毎	1面	5.4
放射線	東京電力、放射性物質を含む蒸気排出の緊急措置「ベント」実施の情報、作業員に周知せず。現場では「できるだけ息を止める」「早く中（室内）に入れ」「走って」などの怒号が飛び交う状況であったことが判明。	山日	1面	5.2

## 官公庁の医療政策

虐待	虐待による親権停止法が成立。親権喪失以外の新たな措置に保護施設側歓迎。親権停止は最長2年間で、親子の関係修復に繋がる可能性も。また、一時的に親権が停止されているため、宗教上の理由で施設で暮らす子供の病気治療を拒否する親から保護できることにもなる。施行は来年4月予定。施行までに具体的運用指針の作成を目指す。	読売	夕・16面	5.27
----	---	----	-------	------

保険	厚労省、社会保障制度改革案の財源は税制改革に委ねる。子ども手当や高齢者医療制度など民主の公約の見直しにかかわることは改革案に盛り込めず。具体的保障論も欠く。	読売	3面	5.13
世論調査	千葉県世論調査で、力を入れて欲しい医療に「救命救急」43.4%、「がん」36.5%、「在宅訪問」35.6%。県内医療の満足度は「満足」40.9%、「不満」47.8%で、三次救急のない山武、長生、夷隅の3地域では「不満」が約6割に昇った。地域格差が今後の課題となる。	千日	1面	5.30

## 大学・教育施策

地学	2011年のセンター試験で地学の受験者5%弱に。中国では、中国科学院が原発で使用している「ウラン」から「トリウム」に切り替えるよう呼びかけるなど自然科学者の活躍が目立つ。地学は今こそ地球環境問題に関わる重要な学問である。	産経	7面	5.29
東北大学	被災地の東北大学は学部の枠を超えた専門家による防災・復興の在り方を研究する組織を立ち上げた。大学からの提案が実際の復興政策に生かされると新たな産学連携モデルにもなる。	読売	3面	5.13

## 病院の経営

キャリア教育	「大学の實力」調査、対人能力の育成が鍵。結果は7月掲載。学生委員の岡山大学医学部4年生は患者の痛みに共感し、信頼関係を築くことが大切と教わっているため、教養・専門教育がキャリア教育につながっているか否かに注目する。	読売	18面	5.12
救急	千葉県館山に救急センター設立（2次救急）へ。来春開業で救急車の受け入れを年間2000件まで見込む。	千日	県南面	5.27
ドクターヘリ	ドクターヘリ、震災で全国16道府県から16機が出動し活躍。導入時の2001年以降、ドクターヘリ特別措置法の設定や運営費の補助で、都道府県での導入が進み、2010年での出動は1万件近くになる。日本航空医療学会調査。	読売	17面	5.15

## 臓器移植

親族	心停止の母から長女に腎臓移植。2010年1月施行の改正臓器移植法に基づく親族優先提供で腎臓移植は初。刈谷豊田総合病院	千日	18面	5.8
----	--	----	-----	-----

腎臓	腎臓移植のドナー、健康管理が学会でも注目を集めている。1. 適正な体重維持、2. 毎日血圧測定、3. 半年ごとの専門医の診断は重要である。	産経	21面	5.2
----	---	----	-----	-----

## 再生医療

iPS	microRNAを脂肪細胞に振り掛けiPS作製に成功したことを大阪大の研究チームがセル・ステム・セル電子版で発表。研究チームらはmi-iPS細胞と名付けた。安全で簡便に作製できる。	千日	19面	5.27
ヒト神経細胞	繊維芽細胞に4種の遺伝子を導入し、ヒト神経細胞の作製に成功したことを米スタンフォード大の研究チームがネイチャー電子版で発表。研究チームらは誘導神経(iN)細胞と名付けた。4種は「Brn2」「Asc11」「Myt11」「NeuroD1」である。	産経	21面	5.28

## 外科・小児科

乳がん	乳がん、自己検診は月1で、画像検診は2年に1度受け早期発見へ。約9割が助かると言われている。乳がんリスクは、血縁者に乳がん・卵巣がんにかかった人がいる、初潮年齢が早い、出産歴がない、初産年齢が遅い、授乳歴がない、高身長、多量の飲酒習慣など。	産経	15面	5.2
ワクチン/ポリオ	厚労省、ポリオに不活性ワクチンを導入。国内4社がジフテリア、百日ぜき、破傷風の3種混合と不活化ポリオを一度に接種できるワクチンの製造販売の承認を年末めどに目指す。ポリオでの生ワクチン接種による死者は2001-2010年で15人、二次感染は6人発症している。	千日	19面	5.27
ワクチン/ポリオ	1975 - 1977年生まれの人はポリオの予防接種を最低1回、可能であれば2回受けるのが望ましい。75 - 77年はワクチン接種への誤解から全国民の接種率が低下した。	読売	17面	5.15
ワクチン/ロタウイルス	厚労省、ロタウイルスによる胃腸炎を予防するワクチン「ロタリックス」(グラクソン・スミスクライン)を承認へ。ロタウイルス胃腸炎は5歳児までに多くの子供がかかり、年間79万人が受診し、7万8千人が入院、数人が死亡している。	千日	19面	5.31

## 治療法・薬

漢方	抑肝散などの漢方薬が認知症の周辺症状(BPSD)改善に注目を集めている。漢方薬は副作用がほとんどなく心身のバランスを整える点が利点である。抑肝散は神経過敏で怒りやすく、眠れない場合に処方される。介護疲れでイライラしている家族にも効くという。	山日	4面	5.2
----	--	----	----	-----

樹状細胞ワクチン療法	セレンクリニック東京で樹状細胞ワクチン療法を2005年より900人に実施。樹状細胞に育つ細胞を成分献血と同手法で患者から採取し、がん細胞の表面にあり、攻撃の目印となる抗原を取り込ませる。同クリニックでは、ほとんどのがんが存在するWT1と他の抗原も組み合わせ、患者に合うワクチンを作製する。ワクチンは免疫細胞のリンパ球に対し、がん細胞への攻撃を開始する。2008年までで、約120人中、がん消滅6%、小さくなった例19%であった。費用は自己負担だが入院不要で、副作用も少ない。	山日	4面	5.2
------------	---	----	----	-----

## 医工学・遺伝子

制癌用細胞	がんのもととなる異常細胞を隣の正常な細胞が生きたまま丸飲みして破壊：ショウジョウバエで実験：米科学誌デベロップメンタルセルに掲載：神戸大大学院研究科遺伝学らのチーム調査	千日	18面	5.16
C型肝炎	C型肝炎のゲノム解読に成功したことを国立がん研究センターと東大先端科学技術研究センターが発表した。63個の遺伝子に変異や13%の細胞でがん抑制遺伝子「TSC1」の機能喪失が見つかった。70代男性患者の細胞から調査。	千日	18面	5.31
ヒ素細菌	米国NASAが昨年12月発表したリンの代わりにヒ素で生きる細菌存在について、結論に疑問を投げかける論文8本が米科学誌サイエンス電子版で発表された。「ヒ素はDNA中では不安定」「ヒ素は体内に取り込んだだけ」など問題点を指摘した。NASAの反論も掲載している。	読売	12面	5.28
人工心臓	国内産体内埋め込み型の補助人工心臓が4月に発売された。2月には健康保険が適用され、1810万円と価格が決まった。当面は心筋梗塞・心筋症など心不全患者が移植を待つ間の「つなぎ」と位置づけされている。3月現在で、12施設が治療実施機関として関連学会から承認を受けた。しかし、4-5年の長期生存率は移植に近い効果が得られており、人工心臓で社会復帰の道も見えてきた。特徴は「1. 小型・高効率化」「2. 人工弁がなく血栓症・感染症が少ない」「3. 長期使用可」「4. 携帯しやすい」 テルモ「デュラハート」：磁気浮上型遠心ポンプ：1年の生存率、欧州84% サンメディカル技術研究所：遠心式で純粋循環型：1年の生存率、83%(18例の治験)	千日	6面	5.15
アディポネクチン	脂肪細胞が分泌する生理活性ホルモン「アディポネクチン」を補充するとインスリンの動き強まる。ホルモンが細胞表面にある受容体を介してインスリンが効くように人体の感受性を高める命令を発し、筋肉組織ではミトコンドリアを活性化させ、糖の取り込みと脂肪酸の燃焼を促す：東京大学講師調査	読売	19面	5.8

## 症状相談

Rhマイナスと妊娠	Rhマイナスと不育症との関連にエヴィデンスなし。健康な人でも流産の確立は15%、妊娠経験のある人では38%に昇る。原因は胎児の染色体異常。また流産・死産を繰り返す不育症の主な原因は抗リン脂質抗体症候群や子宮奇形である。	読売	17面	5.15
白板症	白板症は口腔内粘膜の角化層が厚くなり白いできものように見える病変の総称。原因は喫煙、飲酒などによる粘膜劣化、不適合な入れ歯や詰め物、悪いかみ合わせによる粘膜の刺激。無症状で、口内のどこにでもできる。将来的にがんになる可能性は3-5%程度で、数カ月-数年でがん化。治療は病変部の切除が最も有効であるが、がんになると限らないので経過観察もひとつの手。	読売	17面	5.29

腸管出血性大腸菌	2003-2010年の国の統計では、原因は焼肉やステーキなどの肉に関係していた。菌は75℃で1分以上加熱すれば死滅する。中毒患者の年齢は9歳以下の子どもと高齢者に集中している。多くの場合、3-8日の潜伏期間を経て頻繁な水状態の下痢症状で発病する。菌は直接/間接的に口にはいることで感染もするため、排せつ後の十分な手洗いで予防をする。	千日	6面	5.16
長時間睡眠者	健康な過眠症と呼ばれる「長時間睡眠者」はおおまかに9-10時間以上の睡眠を必要としており、日本では12-14歳で9時間以上眠る人が10%いることが2002年国調査で判明している。但し、長時間睡眠をしても疲れがとれず、日中の眠気が消えなければ特発性過眠症の可能性も。日本睡眠学会( <a href="http://jssr.jp/">http://jssr.jp/</a> )の認定医療機関で相談を。	読売	17面	5.29
鎮痛新薬	昨年6月に発売された鎮痛薬「リリカ」は帯状疱疹後神経痛などに効き目があり、少量ならば飲み続けても問題なし。定期的に血液検査などを受け体調を確認する必要もある。ペインクリニックを受診し、服用について相談を。	読売	15面	5.8

## 介護・高齢者

終末期医療	宮崎県都城市三州病院緩和ケア病棟、患者の話を聞くことを優先。上手に話を聴く訓練を積むことで患者の助けになることを実感。	読売	21面	5.9
認知症	食べ物をよく噛む人は、歯がほとんどなく入れ歯も使わない人に比べ認知症リスクは1.9倍低かった。また食べ物を何でも噛める人は、噛めない人より1.5倍低かった。愛知県内65歳以上の4400人を2003年から4年間追跡調査。神奈川歯科大准教授調査。	読売	17面	5.15
認知症と食	NYに住む高齢者2000人の日ごろの食事を「魚介類・野菜・果物・豆・ワインなどの食材を多く使う地中海式」に近いが否かでクラス分け、4年間追跡調査した。近いクラスは遠いクラスより40%以上も認知症発症リスクが低かった：米・コロンビア大学2006年調査	読売	15面	5.8

## 投稿者の言葉

精神ケア	元宝塚トップスターの妹をみとり、がん患者と家族を精神的に支える仕組みの大切さを実感：効果のない情報に翻弄	読売	15面	5.8
------	--	----	-----	-----

## ミス・事件・訴訟

B型肝炎	B型肝炎訴訟、20年以上経過した慢性肝炎患者救済へ。国は当初、加害行為20年で損害賠償請求権が消滅する民法の除斥期間を主張。札幌地裁は4月19日に300万を支払う追加和解案を提示、国受け入れへ。	産経	22面	5.2
------	---	----	-----	-----

食中毒0111	ユッケ食中毒0111の汚染源判然とせず。店舗に納入される前に汚染されていた見方も。5月11日で富山県で6歳男児、43歳と70歳の女性、福井県で6歳の男児が死亡。患者は120人に昇る。	信毎	31面	5.12
---------	---	----	-----	------

## 危機管理

原発	原子力発電所におけるテロ対策、「消極的」と米指摘：武装警官の全施設配備の必要性：米政府公電ウィキリークスで公開	読売	夕・2面	5.9
憲法	海外のほとんどの国の憲法に非常事態条項。非常事態の時は一時的に行政に権限を集め対応した方が合理的だ。海外の主な憲法条項：フランス「緊急措置権/大統領認定」「戒厳令/閣議命令」、ドイツ「防衛事態/政府の申し立てと議会の同意」「緊迫事態/議会」「憲法上の緊急事態/州または連邦政府」「災害事態/州または連邦政府」、ポーランド「自然災害事態/政府」	産経	3面	5.12
リニア新幹線	リニア新幹線、災害時は時速500キロから90秒で停止。衝撃はバスの急減速のイメージという。リニアに多いトンネルでは階段を使い脱出ルートを確認へ。2027年の東京 名古屋間の開業を目指す。	信毎	21面	5.2

## 医学・医療一般

精神ケア	がん告知のショックや死への恐怖でうつ症状3～4割の患者に発症。がんの治療に集中して見過ごされがちだが、埼玉医大病院精神腫瘍科のような、がん患者の精神ケアは重要である。	読売	17面	5.2
保険	がん患者の通院治療が入院治療より上回り、生命保険（主に手術、放射線、抗がん剤治療対象）も通院保障型へ 損保ジャパンひまわり生命保険「勇気のお守り」：通院給付金、日数も通算無制限 アメリカンファミリー生命保険「生きるためのがん保険デイズ」：通院給付金、日数無制限	千日	4面	5.15
保険	骨髄提供者へ給付金、保険会社8社で導入相次ぐ。ドナーの入院給付金日額は10万。保険加入後1年後からの給付や血縁者では支払われない条件も。	千日	4面	5.8

## 本の紹介

科学者	夏川 賀央『奮い立たせてくれる科学者の言葉90』ユナイテッド・ブックス 1440円	読売	夕・7面	5.9
原発	高木仁三郎『原発事故はなぜくりかえすのか』岩波新書 735円	山日	8面	5.1



高血圧治療法	岡本卓 『薬にも数値にも振り回されない高血圧最新療法』角川SSC新書 840円	山日	4面	5.2
辞典	三浦雅一 『知っているようで知らない医療用語小辞典』ライフサイエンス出版 1260円	千日	18面	5.31
神経	小林弘幸 『なぜ、『これ』健康にいいのか?』サンマーク出版 1470円	千日	6面	5.8
被災地医療	兵庫県保険医協会/協会西宮・芦屋支部編 『被災地での生活と医療と看護』兵庫県保険医協会出版 1575円	山日	4面	5.2
病理診断	近藤武史、榎木英介 『わたしの病気は何ですか?』岩波科学ライブラリー 1260円	千日	6面	5.29

## 朝日新聞・毎日新聞 記事見出し一覧

東日本大震災	赤ブリ避難：心が重い：夜景「原発が照らしてきた光だ」	朝日	夕・1面	5.28
東日本大震災	死の灰から始まった「観測」	朝日	14面	5.26
東日本大震災	電力制限：病院・鉄道を除外：政府30分野で例外3段階	毎日	夕・6面	5.25
東日本大震災	福島原発若者にリスク負わせられぬ：われら暴発阻止行動隊！：参加資格は原則60歳以上：元60年安保闘士呼びかけ続々名乗り	毎日	夕・2面	5.25
東日本大震災	避難生活：歯・口健康に：水不足で磨けず歯垢増え、肺炎も：食後48時間で歯石化	朝日	30面	5.17
東日本大震災	米、日本の原発警備注視：ウィキリークス公電：対テロ攻撃が焦点：「台本読みながら訓練」批判	朝日	3面	5.7
東日本大震災	死者1万4755人	朝日	27面	5.4
東日本大震災	障害者生きる場ごとに：避難所転々：水道使えぬ廃ホテルへ	朝日	26面	5.4
東日本大震災	緊急入院、意思表示に困る：[筋萎縮性側索硬化症、車のバッテリー使って外出用バッテリーを充電してしのぐ]	朝日	17面	5.4
東日本大震災	米、日本の災害対応危惧：08年「官僚縦割り弱点」[と内部文書で米は指摘していた]	朝日	1面	5.4
東日本大震災	7人の母乳から微量放射能検出：乳児影響なし	朝日	34面	5.1
東日本大震災	新生児検査「確認を」被災前後に出産の女性	朝日	34面	5.1
東日本大震災	茨城沖コウナゴ：今期の操業終了：またセシウム検出	朝日	34面	5.1
東日本大震災	都市原発 カナダ激論：トロントから車で1時間内に10基	朝日	5面	5.1
官公庁	難病患者4割が無収入：生活実態初めて調査：厚労省	毎日	24面	5.29
介護・高齢者	のみ込みやすい姿勢で：気管に入る恐れ、足を床に着け 防止	朝日	31面	5.31

介護・高齢者	介護の悲劇防ぐため：「高齢者への暴力防止」12団体助成：酒飲み語り 男性息抜き（NPO法人杉並介護者応援団）：お年寄りに居場所を（NPO法人地域密着型相談センターとまり木）	朝日	17面	5.4
投稿者の言葉	がんと就労：「薬代を、稼がなければ」	朝日	35面	5.25
投稿者の言葉	がんと就労：治療に専念：覚悟の降板：結婚前「悪性リンパ腫」です：[女優]	朝日	33面	5.10
症状相談	全身に湿疹：とてもかゆい[自家感作性皮膚炎]	朝日	31面	5.31
危機管理	災害対策省の設置が急務：漢方専門医	朝日	12面	5.9
危機管理	崩壊した「ゼロリスク社会」神話：放射線被ばくの試練プラスに	毎日	夕・4面	5.25
危機管理	教訓生きなかつた福島原発の事故：専門家とは誰か：水俣病と50年、「水俣学」を唱える医師	朝日	13面	5.25
危機管理	安全性を過言：対応後手	朝日	3面	5.26
ミス・事件・訴訟	牛肉の生食：0111なぜ怖い：子や高齢者重症化も	朝日	39面	5.7
ミス・事件・訴訟	食中毒 神奈川で6人：焼き肉屋チェーン 3県で患者計66人	朝日	26面	5.4
ミス・事件・訴訟	肉の除染責任どこに・・・焦点：ユッケ食中毒1カ月	朝日	37面	5.27
ミス・事件・訴訟	腸管出血性大腸菌：ドイツで患者続出：140人、多い大人/感染経路は不明	朝日	14面	5.27
サイト	平塚市の自殺防災サイト こころの体温計 <a href="https://fishbowlindex.jp/hiratsuka/">https://fishbowlindex.jp/hiratsuka/</a>	毎日	19面	5.3
医学・医療一般	オーバートレーニング症候群：練習で追い込みすぎない	朝日	夕・6面	5.3

凡例 1. 信毎：信濃毎日新聞 千日：千葉日報 長日：長野日報 山日：山梨日日 なのはな：なのはな同窓会報 夕：夕刊(その他の無記載は朝刊ないし日刊) 2. 著作権上、新聞記事の見出しと異なる見出しの場合は、印の後に記載しております。 3. 掲載見出しに補足した場合、補足部分を[ ]で記載しております。 4. 読売新聞、産経新聞の見出しは著作権等があり掲載記事の見出しとは異なるように配慮しております。 5. 日本経済新聞、秋田さきがけ、河北新報の記事は著作権等があり掲載しておりません。 6. 同一記事が複数の新聞で報道されている場合、可能な限り、最も詳しい内容ないしは早い日付で報道されたものを掲載するようにしております。また、著作権を問題としない商業紙を優先し掲載しております。 7. 図書紹介は、単なる広告ではなく、読後の解説評論があるものを掲載してあります。 8. 編集用の商業紙記事は、IT事業予算や編集者の努力の関係で集積しておりますので、全記事を網羅しておりません。御容赦ください。読売新聞が朝刊と時に夕刊、その他の新聞は、購入可能な際入手しての記事のピックアップです。